



KAMEDAJIMA

「はにかむエブリデイ」 亀田の郷の 縞だより

「はにかむ」=しよしがり(はずかしがり)な亀田の人々、「ハニカム」=自然界に存在する丈夫で美しい亀の甲羅の構造。
強く優しい亀田縞と、この地にくらす人々をイメージしています

令和5年
007

亀田縞利用促進協議会



Person

株式会社 片山商店

片山 喜弘さん 美和さん

昔ながらの 糘造りは
ふるさとへの愛情とともに

袋津地区の守り神、伊夜日子社に隣接する片山商店は、味噌・生糘・甘酒など発酵食品の製造販売を手掛ける。

米に糘菌を種付けして「へ

ぎ」に寝かせ、稲わらの「こも」を掛け湿度調整をしながらふわっと育て、現代も昔ながらの「糘へぎこも掛け製法」を続ける。味噌汁椀の中で糘が浮かび舞う越後味噌「亀田味噌」は、地元はもとより郡内有名店でも知られる存在だ。

「天候や気温、素材：私たちがの糘はこの亀田の土地の恵みがあるからこそできる商品です。浮き糘味噌には亀田郷産大豆も使用しています」と三代目店主の喜弘さん。

「こも」から手作りするほど手間暇を惜しまない同店の、もう一つの目玉商品が甘酒「夜雪」。先日ジャパン・フード・セレクションのグランプリを受賞し、妊産婦が安心して食べられるマタニティフードにも認定された。

「発酵食品が目玉され砂糖を使わない糘の甘酒の素晴らしさ

が理解されるようになりました。身体にもよくて安心な甘酒を気軽に楽しんでほしいですね。

美和さんには忘れられないエピソードがある。

「お客様から、重い病でなにも食べられなくなったご家族が私たちの甘酒だけは最後までで口にできたとお礼のメッセージをいただいたんです。うちの子どもも離乳食から甘酒を飲んでいて、あらためて人生の最初から最後まで、食べる喜びや慈しみを実現できる食品だと実感しました。」

日々の作業は夫婦そろって亀田縞のエプロンを身につけて行い、店内では亀田縞の小物などを購入できる。「新潟市への編入合併で消えた町名は、亀田味噌や、亀田縞のように製品に残すしかない。地域の名前を残し伝えていくのは大切なことです」と喜弘さん。

伝統の技から生まれた新たな製品が地域の記憶をつないでゆく。その原動力は、ご夫婦の地元を愛する想いにある。



明治38年創業から一世紀以上の歴史ある店。ご主人は五ツ星お米マスターの資格も持つ。



糘作りの要となる「こも」。現代は作る人がいないため毎年スタッフが使用分を手作りする。

STEP 03 整経(経糸を創る)



1 リピートずつドラムに巻く。 2 目板に一本ずつ通す(糸の道)。 3 設計書どおりに色を順番にセット。



5 織機にのせるため糸をビームにきつく巻き直す。



6 【綾通し】経糸3000本を一本ずつ綜統(そうこう)※2に通す。

※2 綜糸を通すため糸を上下にわたる仕掛けの装置



4 ぐるぐるぐる…ドラムに巻き取る。

織模様が見えてきた!



縦縞は縁起良い吉祥柄と呼ばれますが、一度経糸に縞を入れて織り始めたら途中で変更はできず何メートルと織り続けることから、途切れることなく続くめでたさを意味します。同時に機屋の覚悟の織りともいわれます。

立川織物は巾102cm、経糸に無地、緯糸に縞を作る糸を入れて横縞の布を織ります。両社とも縞を構成する糸は20番を使い、これが亀田縞の大きな特徴となる、粗野っぽい昔の手つむぎの風合いを引き出します。

知っているようで知らなかった
これが亀田縞の決まりごと

亀田縞の定義は、基本的に経糸にインディゴの紺色を使い、糸を先に染める技法。その組織は平織です。

中宮機業の亀田縞は巾118cm、経糸(よこいと)には無地を入れて縦縞の反物を織ります。

STEP 01 縞柄をデザイン 糸量を決める



どんな色のどんな縞模様にするか決め、色ごとに糸の量を計算する。

STEP 02 糸をインディゴ※1に染める



生糸を買いインディゴに染める。亀田縞は糸を先に染める。染まった経糸は強度をつけるため燻げする。

※1 鮮やかな藍色(靑藍)の染料

経糸は強くて丈夫

特集

紙上で工場見学ツアー

ガシャン！ガシャン！ガシャン…。袋津と曙町、2社の機屋からは毎日織機の音が響いています。いったいどのように亀田縞はできているのでしょうか。初潜入、工場内を案内してもらいました。

亀田縞はどうやってできるの!?

はにかむ 機屋だより

中宮機業(有)

2024年のスタートに
干支アニマルはいかがですか

毎年干支のタペストリーや置き物、根付を作ります。製作してくれる人は大変だと思うけど、お客様は毎年楽しみに待っていてくれます。動物モチーフは見てかわいいし飾ってあとと和みますね。もう作り始めて一周年したかしら。販売会では必ず展示していますから機会があれば見つけて下さい。元々私は干支好きで、初めて会う方には「あんな何年生まれなの?」と聞いて、顔と名前と一緒に干支を覚えるようにしているんですよ。



中林 恵利子 さん

今月のイチ押し!

辰の置き物



タペストリーは新柄のちぢみを使ってコミカルな表情のドラゴンができました。置き物は新しく織った緑無地を使ったらくんと辰らしくなりました。

中宮機業(有) 新潟市江南区曙町1-8-18 | TEL.025-381-5163

大正12年創業。縦縞で織り進めるため丈の長い浴衣や着物なども得意。亀田縞の表朴で優しい風合いを生かし、綿、ちぢみ、綿麻、ガーゼなどバリエーション豊富。

亀田縞の2軒の機屋のご主人へよもやまインタビュー。
個性豊かな縞柄を生み出す2人の人柄にふれてみよう、というコーナーです。

今月のテーマ

最新ニュース

立川織物

久しぶりに夫婦で出かけたら
嬉しい人をお見掛けしました

この前、久しぶりに夫婦で電車に乗って日帰り旅をしました。ほくほく線であつた駅まで、建築デザイナーのカール・ベックスさんの古民家を見に行ってきたよ。とても素敵な建物だね。そしたらカフェが大人気で、なんとランチが二時間待ちだつてき。うわーっと思ったけど、偶然カールさんが上の事務所から降りてきてお会いすることができたからラッキーでした。キッシュやオープンサンドを味わって楽しい一日でしたよ。



立川 治秀さん

今月のイチ押し!

トートバッグ



リボン状にした亀田縞を編み込んだ縞の表情を楽しむトートバッグ。口も個性的な形状です。2色展開ですがデザインが気に入れば他の布でもご相談ください。

立川織物 新潟市江南区袋津3丁目1-52 | TEL.025-381-3067

迷路のまち、袋津の一角にある明治17年創業の機屋。縦縞で織り進めるのが特徴で、通常の亀田縞より粗野感のあるための糸で織りあげる。スベック染を行う。



昔も今も変わらない織物の原理

経糸を綜絢に通し上下に動かした間に緯糸を入れる。次の段は上下逆に。この動作の繰り返して一時間に2~3メートル織り進める。写真の上側から紺地の経糸が流れて、緯糸が入ると布地があずぎ色に換わる。

STEP 06 できあがり



紺色ベースの経糸とあずぎ色の緯糸でNK17-4が織りあがりました!!

STEP 05 加工(水洗い・ワッシャー)



水洗い、ワッシャー。糊や綿ゴミを落として生地を目をつめる。

亀田織の独特な天日干し加工になる

STEP 04 製織(布を織る)



3 緯糸は無地あずぎ色をセット。



2 経糸は紺に白とカーキのかすり柄。



1 織機にビームをセット。

ココもポイント!



経糸のさばきを確認、往ったり来たりと忙しい。

経糸が1本ズレても発見する熟練技



少し織ったら経糸の配置が正しいか点検。



2 緯糸に紺、生成、赤の3色を配置。



1 この日の経糸は生成色。

全体工程は同じだが、横縞の立川織物では経糸と緯糸の役割が逆になり複数の緯糸が複雑に走る。横縞は緯糸を換えれば多品種小ロット短サイクルで柄を切り替えられるメリットがある。

横縞の場合(立川織物)



3 横縞の亀田織41-Bが織り上がった。



亀田織ができるまでの流れ

- 01 柄柄をデザイン、糸量を決める
- 02 糸をインディゴに染める
- 03 整経(経糸を創る)
- 04 製織(布を織る)
- 05 加工(水洗い・ワッシャー)
- 06 できあがり



縦縞 [中宮機業有]



横縞 [立川織物]

この工場見学はYouTubeでもご覧いただけます

NEWS & INFO

新商品やイベントのお知らせ、プレゼントなど地域の情報を随時募集中! 内容の問合せはすべて亀田織利用促進協議会広報部へ。

亀田織が東京へ出張!?

新潟市サポーターズ・グランドパーティー

11月28日(火)東京都「新潟市サポーターズ・グランドパーティー」が開催。年に1度行われるこのパーティーは今年も大勢の参加者で賑わいました。当日は新潟市内各区や観光協会がブースを出展し、江南区も豊富な特産品をPR。参加者への抽選品には各区から特産品が集められ、江南区からは亀田地区の逸品詰め合わせセットや農園の自然栽培米と自家製味噌が選ばれ、亀田織の風呂敷に包まれた商品は参加者の注目を集めました。



同クラブは新潟市の魅力を国内外や首都圏に発信することを目的としている団体。新潟市に関心がある人なら誰でも参加できる(入会金・年会費無料)。入会は新潟市のホームページなどから。
https://www.city.niigata.lg.jp/shisei/gaiyo/office_tokyo/nsc/index.html

わたしだけの亀田織を作る、

プロから学べる「まちゼミ」開催

地域のお店と区民をつなぐゼミナール「まちゼミ」が開催(11/4(土)~12/2(土)主催亀田商工会議所・亀田商店会連合会)。亀田織関連では、学生・メンズ・レディースショップはしあため「亀田織こいのぼりづくり」、亀田いっぴん市場満開堂・カメダジマストアで「亀田織トートバッグづくり」が行われました。幅広い年代が参加し、プロから指導を受けながら作品作りを楽しみました。



今年も大盛況! 5周年を迎えた

袋津三味まち歩き

すっかり区を代表するイベントの一つとなった袋津三味まち歩きが9月24日(日)に開催されました。参加者は定番の見どころを回るコースやアップダウンの多いコースなどを堪能し、ホールには伊夜日子会館では袋津のお店が出店するcafé&shopも。売り切れ続出で皆さん大満足のご様子でした。



音楽とパフォーマンスで

亀田織の魅力を再発見

2024年1月28日(日)亀田織のふろしきを使ったパフォーマンスコンテストと、東京パラリンピック国歌斉唱シンガー佐藤ひらりさんのコンサート、「子ども食堂体験会」が開催される(亀田市民会館大ホールにて13時30分~)。亀田織を着ている人は抽選に参加できる特典あり。問/025-255-1388(事務局)



インタビュー

先覚に訊く。

亀田縞と同じく、永くこの地で活躍されている諸先輩を知るコーナーです。

水郷に育ち、水郷を活かした取り組みを実践

横越コミュニティ協議会の会長を務める佐藤正明さん。同協議会は老人福祉センター・横雲荘の指定管理団体。日々元気に利用者の方々と向き合い、交流されています。

少年時代の思い出を教えてください

子供の頃は小阿賀野川でよく川遊びをしていましたね。会津から新潟の製材所へ送る材木のイカダが流れてくるので、そこに乗って船頭さんによく怒られました。当時は川が重要な交通手段で、小学校の遠足は大きな船に乗って白山公園に行ったり、通勤通学に使う渡し場もありました。武道が好きで中学・高校では剣道や柔道を経験したほか銃剣道にも熱中し、22歳のときに県大会で優勝しました。夏になるとクジラを入れた茄子汁を食べて稽古場に通ったものでした。

横越町議会の議員だったとお聞きます

農水大臣をされた佐藤隆議員の秘書を務めたあと横越村の議員になりました。27歳で最年少当選して約30年務めました。当時木造の小阿賀橋を新しくするために建設省で直接交渉したことや、江南駅構想をいち早く打ち出して視察を行ったことなどを、印象深く思い出しますね。



佐藤 正明さん
横越コミュニティ協議会 会長



プライベートー問一答

- Q1.最後の晩餐に食べたい？
生味噌をつけたおにぎり。てっとりばやい、昔のおやつ。
- Q2.好きなカラオケは？
石原裕次郎の「北の旅人」。これしか歌いません！
- Q3.いま会いたい人は？
18歳のとき、42歳で亡くなった親父。残った者はこうなった、といろいろ報告したい。

現在の活動についてお聞かせください

横越コミュニティ協議会で取り組んできた、懐かしい嫁入り船を再現する「水郷の花嫁さん」は船で行くプロジェクトが、2019年国土交通省の「手づくり郷土賞」を受賞しました。うれしかったですね。横雲荘の管理では、常連の利用者さんを長い間見かけないようなときは周囲に声をかけて気にするようにしています。気がかりなことがあればすぐに保健師や地域包括支援センターに連絡できるように心がけています。

横雲荘では利用者を大きな亀田縞のタペストリーが出迎えます

亀田縞を見ると地元の人ほとんどが懐かしさや「品」を感じるように思います。現代の化学繊維と比べて重厚な印象がありますね。今設置している場所は、日光で色がさめないように考えて決めました。利用者のプライバシーを配慮する仕切りにもなり、おひな様などを飾るときには、いい背景にもなります。横雲荘の名物となっていますよ。

お気に入りの亀田縞

亀田縞の公式サイトではみなさんの亀田縞の作品を募集中。洋服、アクセサリやバッグなど。デザイナー、作家さんの作品から、街で買った、自分で作った、お気に入りの亀田縞を教えてください。昔の物でも今の物でもOK。ご応募お待ちしております！

■投稿はこちら ▶ <https://kamedajima.net/showcase>

和室になじむ亀田縞

最近公式ホームページからの投稿が増えてきてスタッフ一同ニコニコです。ありがとうございます！

- 亀田縞公式Instagram
【kamedajima_kamedajima】
- Facebook
【亀田縞-kamedajima】

からもお気軽にご応募ください。

さて今回は「大切に残っていた亀田縞ハグレがたまったのでパッチワークのれんを作りました」という笹川美智子さん。料理好きで日本料理店風に和室に使うのれんにしたそうです。たくさんの縞を入れて素敵です。ぜひ次はにっこり笑顔のぞかせた写真も一緒に送って下さい。お待ちしております！



縞 KAMEDAJIMA

江戸時代後期、当時日本最北の木綿栽培地だった新潟県の亀田郷で、腰まで泥につかる過酷な米作りを支えるため、丈夫で汚れに強く、しかも美しい縞柄の綿織物「亀田縞」が誕生しました。大正期にかけて全盛期を迎えた亀田縞は、時代の変遷で一度は途絶えましたが、消滅から半世紀を経て、現在も残る2軒の機屋により復活しました。従来の素朴であたたかい風合いと丈夫さに加え、特色である独特の肌ざわりよさ、現代生活になじむしなやかさを兼ね備えた布として注目されています。



提供：亀田郷土地改良区 / 撮影 本間喜八氏

はにかむ 編集後記

今年も残りわずかとなりました。皆さまの一年はいかがでしたか。私は新人として毎日が学びで家に帰ってはクタクタ。沢山の人のから苦しいいなあ、フレッシュだなあ、まだ新人だからね！などなど可愛がっていただいた2023年。そんな新人という肩書きがなくなる2024年が悲しいです。迎えたくありません(笑)。さて、来年は辰年。来る年も皆さまが辰の様に昇り続け飛躍する年であることをお祈り申し上げます。そして亀田縞もどうぞよろしくお願いたします。(スタッフ新人A)

亀田の郷の縞だより はにかむエブリデイ007

■発行：亀田縞利用促進協議会 / 亀田織維工業協同組合
〒950-0134 新潟市江南区曙町3-6-1 TEL.025-381-4105 公式サイト <http://kamedajima.net/>

■発行日：2023年12月31日 ■企画編集：パクチャープラス 佐藤洋子 酒井祐介 石井達

Blogも更新中! 亀田縞通信ははにかむエブリデイ <https://kamedajimashimashima.jimdofree.com> 情報、投稿 ご意見はこちら

Instagram | @kamedajima_kamedajima Facebook | 亀田縞-kamedajima